

理事長あいさつ



理事長

五十嵐 修 平

日頃、組合員の皆様には、土地改良区運営並びに事業推進に、多大なるご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

昨年12月の衆議院総選挙によって、新たな政権が誕生し、アベノミクスといわれる景気対策の3本の矢として「大胆な金融政策」「機動的な財政政策」「民間投資を喚起する成長戦略」が掲げられました。

そのような状況の中で円安が進み、株価も上がり日本経済にも好調な兆しが見え始めております。一方、我々が期待している農業との関係については、TPP参加の問題、電力料金の値上げなど日本農業にとって大きな問題が山積されている中、今後の政権運営に大きな期待を寄せているところでもあります。

そんな中で、亀田郷土地改良区も平成25年度予算を編成し、各種事業に取り組みで参ります。昨年に引き続き、担い手農家の規模拡大と利用集積の促進、戦略的作物の品質向上による農業の競争力強化を目的に、老朽化した農業水利施設の整備と畦畔除去等による区画拡大や暗渠排水等の簡易な圃場整備を行う農業基盤整備促進事業を実施します。

どを行う農業水利施設保全合理化事業を実施し、この事業により策定された整備計画は亀田郷中期計画2011の施設更新計画をより具現化することになります。

受託事業として新潟市より本所・江口地区の田んぼダム排水施設設置工事を受託し、豪雨時における雨水対策に協力すると共に、排水路溝畔の強化が図られるものであり、地域の安全度が増すものと期待しているところであります。またスマートIC整備など道路整備事業に伴う排水路の移設補償工事等に協力し亀田郷地域の発展に貢献いたします。

県営事業では、かんがい排水事業等の県営事業の推進により適切な土地改良施設の更新を進めて参ります。これに伴う事業費の地元負担は長期借入も視野に入れ、前もって策定した亀田郷中期計画2011を推進し、将来を見据えた計画を実現しながら、亀田郷農業の根幹である土地改良施設の更新事業を進め、将来の亀田郷農業の発展のため、悠久の亀田郷づくりのために前向きに事業に取り組んで参ります。

今後とも役職員一体となつて業務運営に努めてまいりますので、組合員の皆様方には、なお一層のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年度 通常総代会開催報告

平成25年3月8日亀田郷土地改良区大ホールにおいて、平成25年度通常総代会が開催され、議長に志田常弘総代(大形)、副議長に栗林克巳総代(両川)が選出され、提出された平成25年度収支予算案ほか14議案が原案どおり議決承認されました。

平成25年度 通常総代会 (平成25年3月8日)

付議事項

- 認第1号 専決処分の承認について
議第1号 平成24年度受託事業(用排水路移設補償工事)の変更について
議第2号 平成24年度収支補正予算案について
議第3号 平成24年度一般会計事業費の繰越明許費について
議第4号 平成25年度団体営農業水利施設保全合理化(施設計画策定)事業の施行について
議第5号 平成25年度団体営農業水利施設保全合理化(機能保全計画策定)事業の施行について
議第6号 平成25年度団体営農業基盤整備促進事業(亀田郷地区)の施行について
議第7号 平成25年度新規土地改良施設維持管理適正化事業の加入について
議第8号 平成25年度受託事業(用排水路移設補償工事)について
議第9号 平成25年度受託事業(田んぼダム排水施設設置工事)について
議第10号 平成25年度賦課金について
議第11号 平成25年度収支予算案について
議第12号 平成25年度長期借入について
議第13号 平成25年度基金積立金の一時流用について
議第14号 平成25年度賦課金の徴収期日および方法について



Calendar table showing dates and events from March to October, including meetings, committee work, and agricultural activities.

短 信